

平成24年3月分電力需給状況

需要の概要

平成24年3月分の販売電力量は、24億78百万kWh時、前年比 101.8%（うるう年の影響を補正すると 100.3%）となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、東日本大震災以降継続している節電の影響があったものの、3月分の検針期間に含まれる2月の厳冬による暖房需要増の影響が大きく、前年比 110.0%（うるう補正後 106.3%）となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、3月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減や節電の影響などから、前年比 97.8%となった。

産業用の「大口電力」は、機械を除く主要業種の全てが前年を下回り、前年比94.5%となった。

うるう年の影響について

- ・電灯などの特定規模需要以外の需要は、2月29日が3月分の検針期間に含まれるため、昨年より1日分多くなり、この影響が含まれている。
- ・特定規模需要は、2月29日が2月分の検針期間に含まれるため、3月分への影響はない。

需要実績

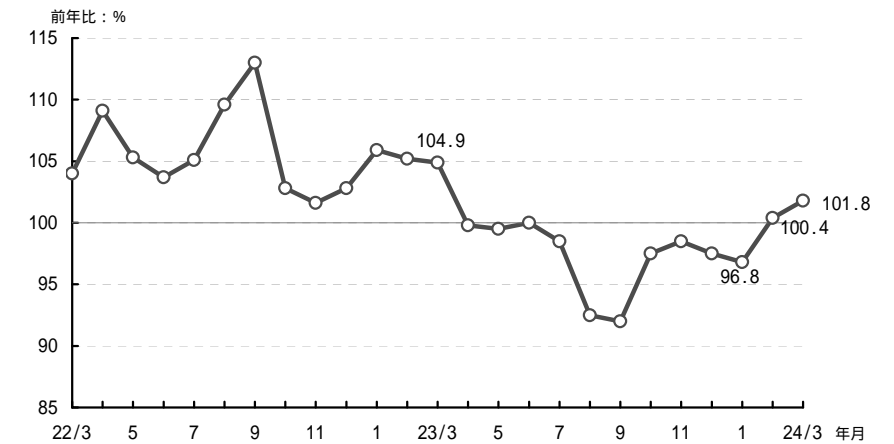
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	951	[106.3]110.0
	電 力	160	[103.9]107.5
	計	1,111	[105.9]109.6
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	505	97.8
	産業用電力	862	95.3
	うち大口電力	(681)	(94.5)
	計	1,367	96.2
販売電力量 計		2,478	[100.3]101.8
融 通		61	11.3

注. []内はうるう年の影響を補正した前年比
(本年3月分から1日分相当を除いた電力量と昨年3月分の電力量を比較し算出)

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
	電力量	前年比		
		24/3月	24/2月	24/1月
織 維	24	82.7	87.7	84.8
紙・パルプ	128	84.1	91.7	113.0
化 学	99	97.1	96.1	92.4
鉄 鋼	80	94.2	110.3	99.1
機 械	159	101.8	104.2	97.3
そ の 他	191	97.4	108.4	99.3
合 計	681	94.5	101.7	99.7

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	24/2月				24/3月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
	実績	4.1	4.9	7.3	5.4	10.3	8.3	10.5
平年差	1.7	1.9	0.1	1.2	2.1	1.5	0.5	0.0
前年差	2.8	0.7	3.4	2.1	3.5	1.1	1.6	1.3

供給の概要

- ・原子力は、伊方発電所が全号機停止していることから、前年比 0.0%となった。
- ・水力は、豊水であったため、前年比 201.5%となった。
- ・火力は、原子力の減少などにより、前年比 145.4%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		備 考
	電力量	前年比		
原子力	(0) 0	0.0	出水率 122.4% (23年3月出水率 71.6%)	
水力	(12) 337	201.5		
火力	(86) 2,347	145.4		
新エネ	(2) 40	102.1		
発受電計	(100) 2,724	81.0		
その他	3			
供給計	2,727	81.1		

注1. 新エネには西条バイオマス(1百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比
注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)			
	電力量	徳島	高知	愛媛	香川
		販売電力量計	(101.5) 556	(101.7) 392	(100.8) 862

注.()内は前年比